(12)　工場用建物

部分別	評点項目及び標準評点数			標準量	補正項目及び補正係数				計算単位
					補正項目	増点補正率	標準	減点補正率	
屋根	勾配屋根	瓦	中 12,600	建床面積一・〇平方メートル当たり仕上面積一・三〇平方メートル	項目別補正方式 屋根の形式		1.0 切妻屋根のもの	→ 0.8 片流れ屋根のもの	建床面積
			並 9,400						
		スレート波板	7,200		勾配の大小	1.1 ← $\frac{7}{10}$ 程度のもの	1.0 $\frac{4.5}{10}$ ～ $\frac{5}{10}$ 程度のもの	→ 0.9 $\frac{3}{10}$ 程度のもの	
		化粧スレート	9,740						
		金属板	鋼板波板 5,440		軒出の大小	1.2 ← 軒出の大きいもの	1.0 45cm程度のもの	→ 0.9 軒出の小さいもの	
			鋼板 7,420						
			ステンレス・アルミ板 9,500						
		アスファルトシングル	7,840		下屋の多少		1.0 下屋のないもの	→ 0.8 下屋の多いもの	
		合成樹脂波板	7,070						
					施工の程度	1.1 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの	
					総合補正方式 施工量の多少	1.3 ← 多いもの	1.0 普通のもの	→ 0.5 少ないもの	
					施工の程度	1.1 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの	
基礎	鉄筋コンクリート基礎	地上高 60cm	8,450	立上り部分延長〇・二八メートル 建床面積一・〇平方メートル当たり	平面の形状等	1.2 ← 規模の小さいもの 細長いもの	1.0 建床面積330㎡程度で多少平面に凹凸のあるもの	→ 0.8 規模の大きいもの 正方形に近いもの	建床面積
		地上高 45cm	7,920						
		地上高 30cm	7,390						
					施工の程度	1.2 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの	
外壁	サイディング		4,100	仕上面積〇・七〇平方メートル 延べ床面積一・〇平方メートル当たり	項目別補正方式 平面の形状等	1.2 ← 規模の小さいもの 細長いもの	1.0 延べ床面積330㎡程度で多少凹凸のあるもの	→ 0.9 規模の大きいもの 正方形に近いもの	延べ床面積
	厚付外装吹付仕上		2,600						
	板張	上	5,030		開口率の大小	1.2 ← 小さいもの	1.0 普通のもの	→ 0.8 大きいもの	
		並	3,720						
	鋼板	平板	2,400		施工の程度	1.2 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの	
		波板	1,720						
	外装タイル		6,840		総合補正方式 施工量の多少	1.4 ← 多いもの	1.0 普通のもの	→ 0.7 少ないもの	
	繊維強化セメント板		3,600						
	スレート波板		1,650		施工の程度	1.2 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの	
	合成樹脂板		2,940						
	薄型気泡コンクリートパネル薄付外装仕上		4,470						
	漆喰大壁		3,830						
	漆喰真壁		5,120						

柱・壁体	真壁造柱	15.0cm 角	1,050	延べ床面積一・〇平方メートル当たり使用本数〇・一五本	項目別補正方式 本数の多少	1.8 ← 外周壁体部の柱間が0.9mのもの 小部屋の多いもの	1.0 外周壁体部の柱間が1.8mのもの	延べ床面積
		13.5cm 角	960					
		12.0cm 角	890					
		10.5cm 角	850					
		9.0cm 角	800					
	大壁造柱	柱 3.64mのもの 13.5cm 角	1,520		柱のさ	1.6 ← 4.8m程度のもの	1.0 3.0m程度のもの	
		12.0cm 角	1,280		施工の程度	1.2 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの
		10.5cm 角	1,180		総合補正方式 施工量の多少	2.9 ← 多いもの	1.0 普通のもの	
		10.0cm 角	1,130					
		柱 3mのもの 13.5cm 角	1,410					
		12.0cm 角	1,180		施工の程度	1.2 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの
		10.5cm 角	1,080					
造作	一般造作	造作評点数＝1㎡当たり柱評点数×0.5 （注）施工の程度によっては、上記の乗率を変えて算出しても差し支えないものとする。		延べ床面積一・〇平方メートル当たり				延べ床面積
内壁	クロス貼		2,790	仕上面積〇・七〇平方メートル 延べ床面積一・〇平方メートル当たり	項目別補正方式 開口率の大小	1.2 ← 小さいもの	1.0 普通のもの	→ 0.7 大きいもの	延べ床面積
	木質系壁仕上	特	12,130		柱のさ	1.5 ← 4.8m程度のもの	1.0 3.0m程度のもの	
		上	4,080		施工の程度	1.2 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの
		中	3,620		総合補正方式 施工量の多少	1.8 ← 多いもの	1.0 普通のもの	→ 0.7 少ないもの
		並	2,670		施工の程度	1.2 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの
	内装タイル	小	4,620					
	合成樹脂板		3,280					
	鋼板		3,540					
天井	木質系天井仕上	中	2,980	仕上面積一・〇平方メートル当たり 延べ床面積一・〇平方メートル当たり	施工量の多少	1.1 ← 多いもの	1.0 普通のもの	→ 0.8 少ないもの	延べ床面積
		並	1,570		施工の程度	1.2 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの
	クロス天井		2,060					
	塗り天井		6,070					
	浴室天井		7,310					
床	床組 一階床組		960	仕上面積一・〇平方メートル当たり 延べ床面積一・〇平方メートル当たり	施工量の多少		1.0 普通のもの	→ 0.8 少ないもの	延べ床面積
	二階床組		4,520					
	転ばし床組		2,390		施工の程度	1.2 ← 程度の良いもの	1.0 普通のもの	→ 0.9 程度の悪いもの
	土間コンクリート打		3,480					
	床仕上 木質系床仕上	上	6,860					
		中	5,010					